

令和8年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができている。
- 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができている。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。

【算 数】

- 立方体の体積を、計算によって求める方法が身に付いている。
- 単位分数の個数に着目し、数直線上の1を表す目盛りを捉える力が身に付いている。
- グラフの特徴や用い方を理解し、内容を読み取ることに課題が見られる。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 「いじめはどんな理由があっても許されない」という規範意識が身に付いている。
- タブレットを活用し、学校の活動でプレゼンテーションを作成する力が身に付いている。
- 学校での悩みや勉強のことを家庭で話題にしない児童が多い。
- 話し合い活動で、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることに課題がある。

3 評価と今後の取組

(1) 教科に関する取組

① 効果があつた取組

- ・電子書籍を含めた朝読の取組や図書委員会や司書による読書活動の推進
- ・国語、算数の基礎・基本の定着を目指した、全校統一形式の家庭学習プリントの作成・実施

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・表現・交流活動を取り入れた授業づくり
- ・課題選択場面や交流場面において、ICT 端末や思考ツールを利活用した授業デザイン

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があつた取組

- ・子供たちの成長を支える、積極的生徒指導の実施
- ・日常や授業、委員会活動などでの ICT 機器の積極的活用

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・家庭と連携した「本のおはなしタイム」を行い、子供と保護者の共通の話題づくり
- ・話し合いの必然性をもった問いの設定と YWF (※) に基づいた振り返りの徹底
(※) Y…やったこと W…わかったこと、わからなかったこと
F…フリー (次にしたいこと、難しかったこと、友達のこと など)